

研究ノート

三重県におけるソウシチョウ *Leiothrix lutea* の記録

Distributional records of the red-billed leiothrix, *Leiothrix lutea*, from Mie Prefecture, central Japan

稲垣玲弥¹⁾・川根有機²⁾・木村京子³⁾・佐野 明¹⁾

¹⁾ 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田3060 三重県総合博物館

²⁾ 〒510-1251 三重県三重郡菰野町千草3927-1 NPO法人ECCOM

³⁾ 〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11 三重県環境学習情報センター

キーワード：外来鳥，分布拡大，チメドリ科

(2021年10月16日 受付)

Reiya INAGAKI^{1)*}, Yuki KAWANE²⁾, Kyoko KIMURA³⁾ and Akira SANO¹⁾

¹⁾ Mie Prefectural Museum

Isshinden-kouzubeta 3060, Tsu, Mie 514-0061, Japan

²⁾ Non Profit Organization ECCOM

Chikusa 3927-1, Komono, Mie 510-1251, Japan

³⁾ Mie Prefectural Environmental Education and Information Center

Sakuracho 3684-11, Yokkaichi, Mie 512-1211, Japan

*corresponding author: xinagar0@pref.mie.lg.jp

Abstract

We organized distribution records for the alien bird, *Leiothrix lutea*, based on references and our unpublished data from Mie Prefecture. The red-billed leiothrix started to spread in Mie Prefecture in the 1990s. At present, this species inhabits wide-ranging areas from seashore, a desert island, and to mountains with an altitude of about 1200 m.

Key words: alien bird, expansion of distribution area, Timaliidae

はじめに

ソウシチョウ *Leiothrix lutea* (Scopoli, 1786) はスズメ目チメドリ科に属し，アジアのパンジャブ東部，インド西部から中国南部，ベトナム北部を原産地とする外来種であり，日本では1980年前後より飼育下より帰化したと考えられる個体群が九州，四国，近畿，関東で確認されている（東條，1994；日本鳥学会目録編

集委員会，2012）。三重県において，ソウシチョウの記録は1996年に紀北町において観察された事例（佐藤，1998）が最初である。以降，県内各地で生息記録が報告されている。本稿では既存の文献記録および著者らの観察記録を整理し，今後の三重県における本種の分布の変遷や生息数の変動を考える際の基礎資料とするため報告する。

ソウシチョウの分布記録は、過去の文献記録、著者らによる確認記録の順に整理した。文献記録および著者らの確認記録については確認（観察）した場所、確認年月日、確認個体数および出典の順に記載した。三重県総合博物館に標本が収蔵されているものについては標本番号および標本の種別も記載した。確認年月日が古い順に記載した。地名については2021年10月現在のものに直した。また、それぞれの確認地点を図1に示した。

文献による記録

度会郡大紀町大内山岡ヶ野, 1996.10.31, 1羽（清水, 2017）

三重県総合博物館収蔵標本MIE-Av0001265, 全身骨格

北牟婁郡紀北町 往古川上流, 1996.12.4, 4羽（佐藤, 1998）

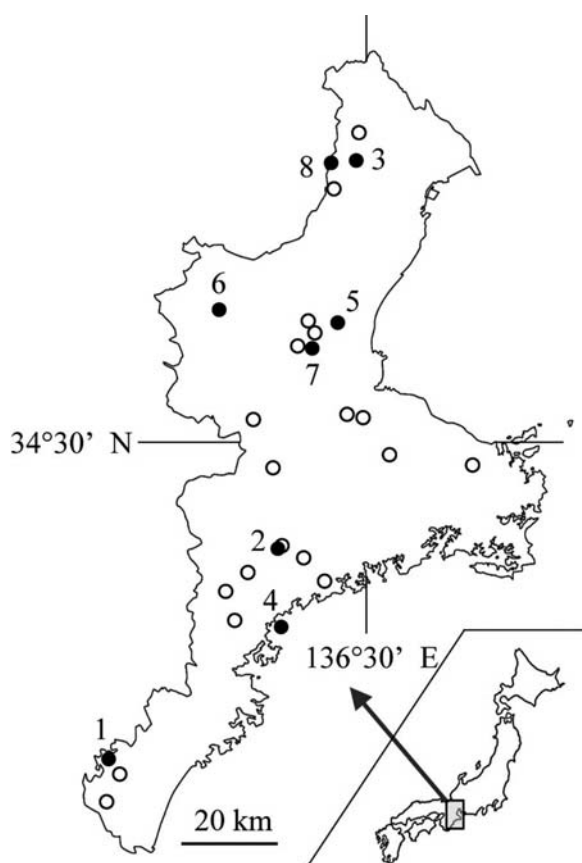


図1. 三重県におけるソウシチョウの分布.

- ：過去の文献記録による生息地点
●：本研究による新たな確認地点。番号は著者らによる確認記録に対応

多気郡多気町相可, 1998.11.10, 1羽（清水, 2017）

三重県総合博物館収蔵標本MIE-Av0000926, 本剥製（図2a）

伊勢市一字田町 島路山, 2000.11.5, 2羽（財団法人山階鳥類研究所, 2002）

多気郡大台町大杉, 2001.6.24, 1羽（清水, 2017）

三重県総合博物館収蔵標本MIE-Av0001044, 仮剥製（図2b）

熊野市紀和町和気 立間戸谷, 2002.12.31, 数羽（清水, 2019）

熊野市紀和町小栗須, 2003.12.18, 1羽（清水, 2017）

三重県総合博物館収蔵標本MIE-Av0001314, 本剥製
松阪市伊勢寺町 松阪森林公園観音岳, 2006.11.17, 10
数羽（平井, 2007b）

津市美里町 瀬戸林道, 2006, 不明；2012.4.19, 数羽（今堀, 2020）

度会郡大紀町大内山 南亦山森林公園, 2010.7.22, 2羽（近藤, 2010）

津市美杉町八知 大洞山, 2010.9.19, 数羽（清水, 2019）

度会郡大紀町錦 姫越山, 2012.3.22, 不明（近藤, 2012）

津市美杉町川上 修験業山, 2012.4.10, 不明（近藤, 2012）

四日市市水沢町 鎌ヶ岳, 2012.4.18, 不明（近藤, 2012）

松阪市伊勢寺町 堀坂峠, 2013.4.25, 複数羽（平井, 2013）

いなべ市大安町宇賀 宇賀川右岸, 2019.3.18, 5～10羽；
2019.3.19, 5～10羽；2019.3.25, 5～10羽；2019.4.7,
5～10羽（矢崎, 2019）

多気郡大台町大杉 大台林道, 2019.4.16, 数羽（清水, 2019）

伊賀市勝地 青山高原, 2020.8.12, 不明（今堀, 2020）

これらのほか、地点の詳細は不明であるが、青山高原北部尾根筋で実施された標識調査で、2002年の春以降、2006年まで継続的に捕獲されたことが報告されている（平井, 2007a）。

著者らによる確認記録

1. 熊野市紀和町木津呂, 2000.3.9, 数羽
2. 度会郡大紀町大内山 大紀町大内山南俣山鳥獣保護

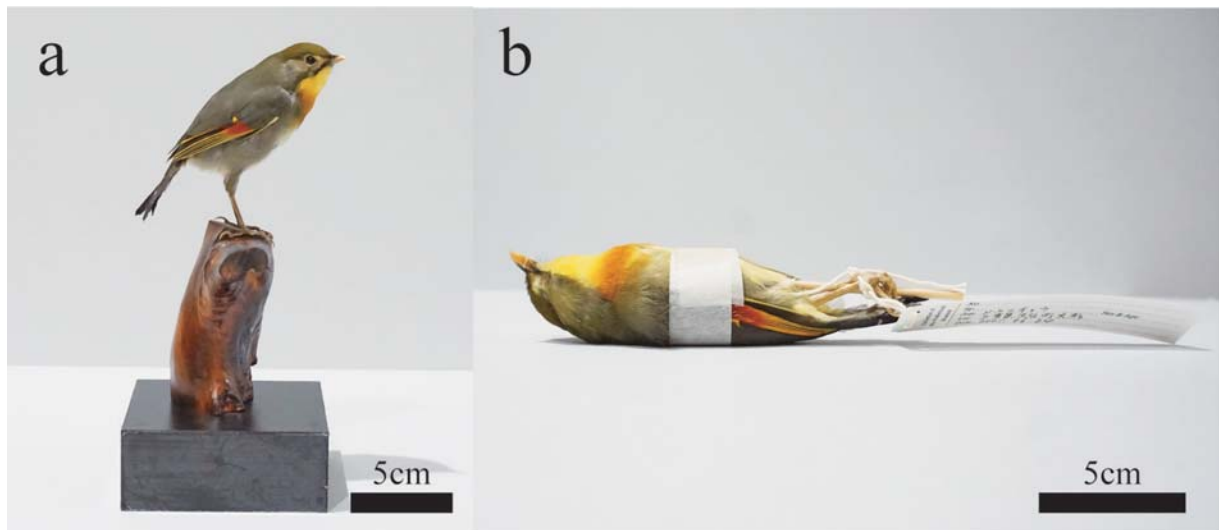


図2. 三重県総合博物館収蔵のソウシチョウの標本.

a, 本剥製標本MIE-Av0000926 ; b, 仮剥製標本MIE-Av0001044.



図3. 2021年5月6日菰野町で撮影されたソウシチョウ.

- | | |
|--|---|
| 区, 2008.5.21, 1羽 | 5. 津市片田長谷町, 2021.2.10, 数羽 |
| 3. 三重郡菰野町千草 三重県民の森, 2013.11.27, 不明 ; 2014.11.17, 不明 ; 2014.11.21, 数羽 ; 2014.12.12, 数羽 ; 2015.11.22, 不明 ; 2019.1.31, 数羽 ; 2019.11.18, 不明 ; 2020.2.17, 不明 ; 2020.11.27, 5羽前後 ; 2021.5.6, 1羽 (図3) | 6. 伊賀市下友生 三重県上野森林公園, 2021.2.23, 1羽 |
| 4. 北牟婁郡紀北町三浦 鈴島, 2019.10.28, 1羽 | 7. 津市榑原町 青山高原, 2021.4.8, 数羽 ; 2021.4.30, 数羽 |
| | 8. 三重郡菰野町菰野 御在所岳山頂, 2021.5.29, 不明 ; 2021.6.26, 不明 |

三重県における生息域の拡大

ソウシチョウは三重県内ではすでに平野部から離島、標高1200 mの山地にかけて広く分布していることが明らかになった。著者のひとり木村は1980年代に三重県庁舎内（津市広明町）に入り込んだ本種を保護し放鳥しているが、この個体については飼育個体が逃げ出した可能性も考えられる。本種の三重県での分布拡大は主として1990年代に大台山系から始まったと推定される。このことは、紀伊半島では1980年代に吉野山地で本種が確認され、1994年には大台、大峰、伯母子山系に広く分布している（奈良教育大学教育学部附属自然環境教育センター、1994；日本野鳥の会奈良支部、2013）ことから示唆される。

謝辞

本研究にあたり、日本鳥学会の川路則友博士には原稿に対して、有益なご助言をいただいた。ここに記してお礼申し上げる。

引用文献

- 平井正志. 2007a. ソウシチョウ. しろちどり, 56: 8-9.
- 平井正志 (編). 2007b. 野鳥記録 (2006年12月～2007年3月まで). しろちどり, 54: 18.
- 平井正志 (編). 2013. 野鳥記録 (2013年5月10日までに報告があったもの). しろちどり, 76: 28-29.
- 今堀聖史. 2020. 青山高原のソウシチョウ. 自然誌だより 三重自然誌の会情報誌, 125: 1.
- 近藤義孝 (編). 2010. 野鳥記録 (2010年6月～9月に報告があったもの). しろちどり, 65: 9.
- 近藤義孝 (編). 2012. 野鳥記録 (2012年6月11日報告分まで). しろちどり, 71: 12-13.
- 奈良教育大学教育学部附属自然環境教育センター (編). 1994. 奈良教育大学自然環境教育センターの自然. 108pp. 奈良教育大学教育学部附属自然環境教育センター, 奈良.
- 日本鳥学会目録編集委員会 (編). 2012. 日本鳥類目録 改訂第7版. 438pp. 日本鳥学会, 三田.
- 日本野鳥の会奈良支部 (編). 2013. 奈良の野鳥ものがたり—今, 自然におきていること—. 262pp. 日本野鳥の会奈良支部, 奈良.
- 佐藤真矢. 1998. 紀伊半島におけるソウシチョウ *Leiothrix lutea* の新たな観察例について. 紀伊半島の野生動物, 4: 21-22.
- 清水善吉. 2017. 三重県立博物館勤務時に集めた動物資料. 三重自然誌, 15: 144-147.
- 清水善吉. 2019. ソウシチョウの記録若干. 自然誌だより 三重自然誌の会情報誌, 120: 4.
- 東條一史. 1994. 筑波山塊におけるソウシチョウ *Leiothrix lutea* の増加. 日本鳥学会誌, 43: 39-42.
- 矢崎充彦. 2019. いなべ市大安町でソウシチョウ (スズメ目:チメドリ科)を確認. 藤原岳自然科学館館報 藤原岳, 41: 1.
- 財団法人山階鳥類研究所 (編). 2002. 神宮鳥類生息調査報告書. 99pp. 財団法人山階鳥類研究所, 我孫子.